

# 明日の親となる 中・高校生を対象にした 子育て理解講座事例集



## 発刊のことば

家庭教育はすべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣や倫理観、自立心などの「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成するうえで重要な役割を果たすものです。しかし、近年の都市化、核家族化、少子化、地縁的なつながりの希薄化など、家庭を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が指摘されています。

家庭の教育力の向上を図るためには、親としてのあり方についての学びや経験の場が必要であることから、文部科学省では、平成16年度から「家庭教育支援総合推進事業」を実施し、家庭教育に関する学習機会を提供しています。

本県におきましては、教育委員会、学校、社会福祉、企業、子育て支援団体関係者等から成る「岩手県家庭教育推進協議会」を設置し、文部科学省の委託を受けて各種事業を展開し、家庭教育の充実と支援に努めてまいりました。

このうち、乳幼児健診、就学時健診、入学説明会・保護者会など、様々な機会をとらえて子育て講座を行う「家庭教育推進事業」につきましては、市町村教育委員会や市町村規模の家庭教育推進協議会等へ再委託して全県的に展開してまいりました。

また、若いうちから家庭教育への関心を高めることが必要であることから、明日の親となる中・高校生を対象にした「子育て理解講座」を各地で開催していただいておりますが、本協議会といたしましては、これをさらに拡大したいと考え、このたび、講座の企画担当者、学校関係者向けの事例集を作成いたしました。

作成に当たりましては、県内をはじめ、全国各地の事業担当の皆様から情報や資料等の提供をいただき、特色ある実施事例を取録いたしました。

掲載した事例は、講義、体験学習やイベントなどいずれも今後の事業推進に当たり、大変参考となる優れたものであり、本事例集を効果的に御活用いただければ幸いです。

終わりに、資料の作成に当たり御協力いただきました都道府県教育委員会、市町村教育委員会並びに関係の皆様には感謝を申し上げます。

平成17年3月

岩手県家庭教育推進協議会

会長 渡邊 淳

# 目次

発刊のことば	1
家庭教育支援総合推進事業とは	4
事 例	
1 「子育てってなんだろう」 追分町教育委員会（北海道）	6
2 「将来すてきな父母になるために」 五所川原市教育委員会（青森県）	10
3 「保育体験しよう！」 塩竈市教育委員会（宮城県）	14
4 「子どもたちとの交流と性教育」 川西町家庭教育ネットワーク協議会（山形県）	18
5 「中学生の子育て講座」 新座市子育て支援ネットワーク推進委員会（埼玉県）	22
6 「朗読を体験しよう！」 大垣市教育委員会（岐阜県）	26
7 「Withスクール事業」 福岡県教育委員会 南筑後地区「地域ぐるみ子育て支援」協議会（福岡県）	30
8 「中学生の子育て理解講座」 花泉町教育委員会	34
9 「明日の親となる中・高校生を対象にした子育て理解講座」 陸前高田市教育委員会	38
10 「ひよこふれあい体験」 宮古市教育委員会	42

# 家庭教育支援総合推進事業とは

## 1 事業の要旨

すべての教育の出発点である家庭教育について、平成15年通常国会で成立した少子化社会対策基本法では、「国及び地方公共団体は、子どもを生み、育てる者の教育に関する心理的な負担を軽減するため、教育の内容及び方法の改善及び充実、入学者の選抜方法の改善等によりゆとりのある学校教育の実現が図られるよう必要な施策を講ずるとともに、子どもの文化体験、スポーツ体験、社会体験その他の体験を豊かにするための多様な機会の提供、家庭教育に関する学習機会及び情報の提供、家庭教育に関する相談体制の整備等子どもが豊かな人間性をはぐくむことができる社会環境を整備するために必要な施策を講ずるものとする。(第14条)」と述べられているとともに、同通常国会で成立した次世代育成支援対策推進法に基づく都道府県及び市町村の行動計画策定指針においては、家庭教育への支援の充実として「子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会や情報の提供を行うことが必要である」旨が明記されている。

このため、子育てサポーターの資質向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供等を推進する。

## 2 事業の内容（文部科学省から地域家庭教育推進協議会へ委託）

- ① 地域家庭教育推進協議会の開催  
家庭教育に関する取組みの具体的な企画・立案を行うとともに、PTAや子育て支援関係団体等との連携による取組みについて検討する。
- ② 子育てサポーターの資質向上を図るリーダー養成等  
全国的に配置されている子育てサポーターに対し、相互連携の促進や情報交換の機会を提供するなど、子育てサポーターの資質向上を図るリーダー的人材を養成する。
- ③ 家庭教育推進事業の実施  
親が参加する多様な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育への参加の促進を図る。

## 3 岩手県家庭教育推進協議会の取組み

本県においては、「岩手県家庭教育推進協議会」を設置し、文部科学省から事業委託を受け、各事業を推進している。

家庭教育推進事業については、岩手県家庭教育推進協議会から各市町村協議会等へ再委託し、妊娠期子育て講座、就学時健診等の機会を活用した子育て講座、思春期子育て講座、明日の親となる中・高校生を対象にした子育て理解講座、その他の機会を活用した子育て講座、父親の家庭教育への参加を考える集いを実施しており、特に、明日の親となる中・高校生を対象にした子育て理解講座は、これまでになかった中学生、高校生を対象にした講座であり、県協議会としては、これを積極的に支援しようと考えている。

# 事例



- ① 追分町教育委員会（北海道）
- ② 五所川原市教育委員会（青森県）
- ③ 塩竈市教育委員会（宮城県）
- ④ 川西町家庭教育ネットワーク協議会（山形県）
- ⑤ 新座市子育て支援ネットワーク推進委員会（埼玉県）
- ⑥ 大垣市教育委員会（岐阜県）
- ⑦ 福岡県教育委員会  
南筑後地区「地域ぐるみ子育て支援」協議会（福岡県）
- ⑧ 花泉町教育委員会
- ⑨ 陸前高田市教育委員会
- ⑩ 宮古市教育委員会

講義・  
体験学習

# 子育てってなんだろう

追分町教育委員会(北海道)

TEL 0145-25-2083

## 事業のねらい

明日の親となる中学生を対象とした学習機会を社会教育として提供するとともに、中学校第3学年家庭科「子どもの成長」の目標である「子どもが育つ環境としての家族や周囲の人びとの役割について考える」ことを体験的活動や話し合い活動をとおしてめざす。

## 事業の概要

### (1) 事業期日

平成16年9月3日(金) 10:35~12:25

### (2) 実施場所 追分町立追分中学校

### (3) 参加対象者 追分中学校3年生

### (4) 参加者数 追分中学校3年生34名

### (5) 事業内容

#### ア 事前の打ち合わせ

ねらいや生徒の実態等を全体で確認する  
使用する教材の検討をする

#### ①第1回目

地域の妊婦の方、授業者、社会教育主事、保健師

#### ②第2回目

外部講師(助産師)、授業者、社会教育主事、保健師

#### ③第3回目

授業にかかわる全スタッフ



## イ 当日の事業（授業）

項 目	具 体 的 な 内 容	備 考
①ビデオ視聴	・ 生命誕生のビデオを視聴する	・ 生徒2名が妊婦体験セットを着用し、授業に参加する 〈保健師補助〉
②助産師による講話 （出産について）	・ 生命誕生の過程について ・ 出産のよろこび、出産時の事故 など	
③妊娠から出産までの理解	・ 胎児の人形を使い母体内での成長について説明 ・ 胎児の心音を聞く 〈生徒の心音と聞き比べる〉	・ 胎児と同じ重さの人形を実際に抱いてみる ・ 妊婦さんの協力 〈保健師補助〉
④妊婦さんとの交流	・ 妊娠に関して、生徒が妊婦さんに質問をする 〔ご主人の反応は？ 心配・不安は？ 注意しなければならないことは？ 妊娠するってどんな感じですか？ など〕	・ 実際にお腹をさわらせてもらい、胎児の動く様子を実感する（女子生徒）
⑤生徒、妊婦、助産師を交えての話し合い活動	・ 生命の誕生や生命を育てるうえで大切なことは何かについて話し合う	・ 妊婦さん、助産師さんの考えも聞き、グループで考えさせる

## ウ 事後の活動

協力していただいた妊婦さんとの交流

出産した時に、おめでとうメッセージを届けに訪問し、実際に赤ちゃんを抱っこして、小ささやかわいらしさを実感した

「学校に赤ちゃんと遊びに行くね」→ 今後の交流により乳児の発達も学ぶ機会にする

### (6) 連携機関 健康福祉課

日本助産師会北海道支部(PALの会)

### (7) 広 報 学校だよりにて保護者にも周知

### (8) 経 費 報償費

## 事業展開のポイント

- ・ 町の家庭教育支援総合推進事業と迫分町学社融合事業に位置づけて実施する。
- ・ 外部講師と授業補助者、授業者と事前に3回の打合せでねらいの共通理解を図る。
- ・ 実際に体験したり、妊婦さんから直接話を聞いたりすることで生きた学びにする。

## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

- ・ 学社融合（学校教育と社会教育の融合）の事業で出産に関わる専門家や、町内の妊婦さんの話を直接聞いたり、妊婦体験、胎児の心音を聞く体験などを通して、生命の不思議さ、妊娠の喜びや大変さ等を生きた学習で行うことができた。
- ・ 授業後も生徒の興味・関心が高く、協力していただいた妊婦さんが、出産した際には、乳児へのおめでとうメッセージを送るなど交流を深めている。

### (2) 課 題

- ・ 限られた時間での学習（2時間）だったので、生徒に十分に話し合わせる時間を持てなかった。
- ・ 講師との事前打ち合わせの時間を設定するのが難しかった。

## 参加者の感想文

今まで学んだことよりももっと知らないことがたくさんあってとても勉強になりました。やっぱり妊婦さんは、強いんだなあと思いました。



今まで知らなかったことが知れてとても勉強になりました。弟(1年生)を大切にしようと思いました。

家事を全部やっていると聞いてびっくりした。一人で子どもを産むということはとても大変なことだと思った。一人の人間が「普通に育つこと」はとても奇跡的なことなんだなと思った。妊婦さん自身もそうだけど夫婦二人で強い気持ちを持つことが大切だと思った。みんな「おかげさま」なんだなと思った。

命の大切さがわかった。妊婦体験はお腹が重く、座っているだけでとてもつらかった。妊婦さんの大変さがわかった。これからもし妊婦さんを見かけたら手助けをしてあげられたらいいなと思った。

まだ生まれてもないお腹の中にいる胎児に話しかけて、その言葉がわかり返事を返すことが不思議だった。

やっぱり愛情が大切なんだなと思った。実際の体験談でみんながみんな健康で生まれてくるのではないと言っていて、いろいろなことを考えた。調査が楽しみだなあ。

赤ちゃんを産むのは痛そう。色々な赤ちゃんもいるんだなあって思ったし、産み方も色々あると知った。はじめて聴いた言葉もあった。妊婦さんのお腹をさわっちゃった。心臓みたい。あんなに動くとは思わなかったし、それにお母さんは嬉しそうだった。

生命の誕生は素晴らしいと思った。だからこそ、生命を育てる時は、笑顔で接していくのが一番だと思う。

妊婦さん体験は大変だったけど、子どもができるっていいなと思いました。助産師さんや妊婦さんのお話もためになりました。

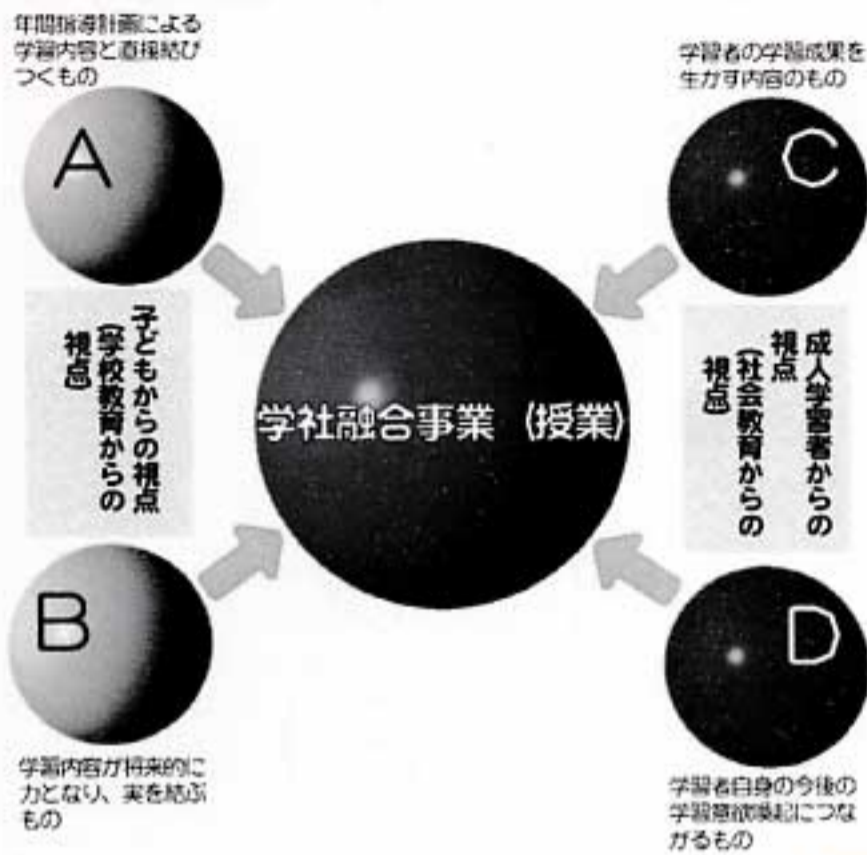
いろいろ参考になった。赤ちゃんの持っている力はすごいと思った。勉強になった。





資料

追分町の学社融合(学校教育と社会教育の融合)の事業



学社融合事業(授業)へは、ふたつの視点を持ち事業へアプローチする。また、各視点は、それぞれ内容的もふたつの領域に分けて取り組む

【視点1】子どもからの視点(学校教育の視点)

領域A	年間指導計画による学習内容と直接結びつくもの
領域B	学習内容が将来的に力となり実を結ぶもの

【視点2】成人学習者からの視点(社会教育の視点)

領域C	学習者の学習成果を生かす内容のもの
領域D	学習者自身の今後の学習喚起につながるもの



今回の事業【授業】では

子どもからの視点		事業(授業)名 内 容	成人学習者からの視点	
領域	教育課程との関係		社会教育計画との関係	領域
A B	第3学年・家庭科 「家族と家庭生活」 ～家族や地域の人と関わって～	「子育てってなんだろう」  中学生とその保護者を対象とし、 子育てについて親も子も今一度 考える機会とする	家庭教育 青少年教育 子育て講座(明日の親となる中 高校生を対象とした子育て理解 講座) 講師:助産師等	C



講義

# 将来すてきな父母になるために

五所川原市教育委員会(青森県)

TEL 0173-35-2111(内線557)

## 事業のねらい

「生」と「性」を学ぶ事で明日の親になる心構えを持ってもらう。

## 事業の概要

- (1) 事業期日 平成16年12月21日(火)
- (2) 実施場所 青森県立五所川原工業高等学校
- (3) 参加対象 青森県立五所川原工業高等学校  
電気科3年生
- (4) 参加者数 40名(内 男子24名、女子16名)
- (5) 事業内容

講演「将来すてきな父母になるために」  
～青年期の生き方～

講師 金木公立病院  
副看護部長 角田 つね



## 講演内容

「将来すてきな父母になるために」と題し、まず「生」についてということで最初聴診器で自分の心音を聴いて生きるということ考えた。

それから「性」ということで人工妊娠中絶、性感染症の恐ろしさについて講義がなされ、命を確実に伝えていくという使命を担っていることで締めくくった。

## 工夫点

レジュメだけで講義するのではなく、写真や器具を使ったり、生徒自身に実験台になってもらったりして、受講者参加型の講演会にする。

## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

生徒自身が実験に参加したということもあって、全員が熱心に取り組んでいた。アンケート調査結果においても「生」と「性」について深く考えさせられた等とても成果があったと考える。

### (2) 課 題

今回、初めての試みとして高校生対象とした講座を実施してみましたが、「生と性について」の重要性及び必要性を強く感じました。来年以降もできれば中学生から取り組むべき課題と考える。



## 参加者の感想 (※●男子、●女子の感想です)

● 僕は今日の講演で「生」と「性」の話聞いて「性」について強く考えさせられました。ただ話を聞くだけでなく、実際に写真や道具を使って見せてくれたのでとてもわかりやすかったです。僕たちはこれから様々な経験をしていくと思うので性に関しては注意しなければいけないと思います。とてもよい勉強になりました。

● 僕は今日の講演を聞いて自分の性に関する考え方が変わりました。僕は中絶の話聞いたとき、そんなことが身近でおきていることを知りました。責任を持たずセックスすることも駄目だと思います。子どもが出来てすぐ中絶したりしていると子宮に傷がつき、もう子どもが出来ない体になることも知りました。

中絶の話題は、よくテレビなどでもよく耳にします。自分は平気で思っている、いつ起こるか分からないので、気を付けなければならないと思います。僕は将来子どもが欲しいと思っています。なので性に対しては真剣に考えたいと思います。大変勉強になりました。

● 胎児はとても小さいけれど「命」があるんだと再確認させられました。性病についても改めて怖さを実感しました。これから将来、わたしも子どもを育てる時がくると思いますが、母親になる自覚をしっかりと持ち、自分の体も大切にしていこうと思います。

● 生命の大切さを知りました。ありがとうございました。

● 命の尊さ、性病の事を知って良かったです。電気科だけでなく、みんなにも聞いて欲しいと思いました。

● 私は今まで命に関してあまり考えたことがありませんでした。興味もありませんでした。今回の講演を聞いてすごく勉強になりました。私は以前から小さい子どもが大好きで、赤ちゃんは生まれてきて当然だと思っていました。生まれてこない赤ちゃんの事を考えるとすごく悲しくなります。だから安易な行動はしないようにします。将来、世の中の赤ちゃんが必ず生まれてくるようになればいいなと思います。

● 今回の講演は最後まで飽きなかった。とても勉強になった。

● 赤ちゃんの心音を聞く機械で男子の心臓の音を聞いたのが一番印象深く残っています。緊張から心音が速い人もいたけれど、赤ちゃんに比べると遅いというのも驚きました。角田先生の講演でたくさん勉強になりました。ありがとうございました。

● 安易な性交がどれだけの影響があるのかわかりました。わかって良かったと思う。

● 動きのある講演だったのでおもしろかった。

● 今まで性について深く考えたこともなかったのですが中絶のことなど改めて考えさせられました。

● 実際の話なども出て、辛くなった。自分の責任でできた子どもを自分の都合で殺してしまうのは、命を粗末にしていると思った。

感染症は怖いと思った。自分はそうだけれど、みんなにも気をつけて欲しいと思った。

将来自分に子どもができたら愛情をもって育てたいです。

● 中絶が増えているということは、生まれてこない赤ちゃんが増えてきていることでとてもかわいそうだと思いました。中絶をした人だって自分は生まれてきたんだから、もっと命について考えるべきだと思いました。

● わからないことがわかってよかった。

● 今日の講演は実験みたいなこともやって楽しかった。妊婦の事や性病についてはっきりわかった。無意味な性交は駄目だと思った。いろいろ考えさせられました。



- 自分の生き方や命について深く考えた事はなかった。角田先生の講演を聞いて、自分で考える時間を与えられました。性についてはあまり考えたことが無かったのですが、すごく興味深い話でした。へその緒は母親としっかり繋がっていて、あたりまえの事だが、すごいと思った。母を大切にしたいと思う。
- とてもためになりました。中絶は絶対やってはいけないと思いました。流産など悲しい思いをする人もいるのに中絶をして命を奪うなんて許せない。
- 今回の講演を聞いてとても勉強になりました。安易な考えで性交をすると大変なことになるし、自分自身も相手も傷つけてしまうと聞き、中絶の重大さを改めて感じました。絶対にこのような事はしたくないです。
- 中絶はとても辛いことなのに、最近、増えてきていると聞きます。しかも若い人たちに増えていると聞きます。子どもが欲しくなったらそれなりに対処すればいいと思います。今回の講演を聞いて真面目に生きたいと思いました。



講義・

# 保育体験しよう！

体験学習

塩竈市教育委員会(宮城県)

TEL 022-362-2556

## 事業のねらい

文部科学省の提唱する「家庭教育支援総合推進事業」の一環として、市内中学生と高校生を対象に、「保育体験学習」を実施する。参加者に「生命の尊さ」や「子育ての難しさ喜び」などを啓発することで、将来親となるための自覚や思いやりの心を養う。

## 事業の概要

- (1) 事業期日  
平成16年7月26日(月)～  
平成16年8月13日(金)
- (2) 実施場所  
塩竈市内保育園、保育所(10カ所)、仲よしクラブ(2カ所)
- (3) 参加対象者  
塩竈市内在住・在学の中学生及び高校生
- (4) 参加者数 48名 延べ228名
- (5) 事業内容

事業日程

日程①	7/26(月)	7/27(火)	7/28(水)	7/29(木)	7/30(金)
日程②	8/9(月)	8/10(火)	8/11(水)	8/12(木)	8/13(金)
時間	10:00～12:00	9:00～16:00	9:00～16:00	9:00～16:00	10:00～12:00
内容	事前研修	保育体験	保育体験	保育体験	事後研修
場所	公民館	保育所・保育園 仲よしクラブ	保育所・保育園 仲よしクラブ	保育所・保育園 仲よしクラブ	公民館



### ①事前研修会

- ・開講式
- ・オリエンテーション ～持ち物や服装～  
注意事項説明
- ・講話「保育や子育ての話」
- ・講師：清水沢保育所長 杉 船 弘 美



## ② 保育体験

時 間	保育所・保育園	仲よしクラブ
9:00	体験開始 あいさつ 一緒に遊ぶ	体験開始 あいさつ 一緒に遊ぶ
11:30	昼食	昼食
13:00~15:00	お昼寝 一緒に遊ぶ	14:00~ 安静タイム 一緒に遊ぶ
16:00	退所	退所

### ● 保育所・保育園……

主に3歳児の子どもたちと一緒に遊んだり、ご飯を食べたり、お昼寝のお手伝い

### ● 仲よしクラブ……

小学校1~3年生の子どもたちと一緒に遊んだり、ご飯を食べたり、夏休みの宿題のお手伝い



## ③ 事後研修会

- ・オリエンテーション
- ・講話  
「保育体験を終えて～「大人」「親」になるということ」  
講師：坂総合病院産科医長 船山 由有子
- ・閉講式（修了書授与）

## (6) 連携機関

健康福祉部社会福祉事務所（保健指導係、児童館）

## (7) 広 報

- ア 広報しおがま7月号にて告知
- イ 各学校や関係機関にチラシ・ポスター配布（計4,000枚）
- ウ マスコミ（ケーブルテレビ、新聞等）の活用

## (8) 経 費

- ア 報償費、消耗品費、通信運搬費
  - イ 参加費 1,200円  
腸内細菌検査300円、給食代@200円×3日、  
保険料@100円×3日
- ※ 仲よしクラブは600円（給食がないため）

## 事業展開のポイント

- ・長期休暇を利用することで、5日間連続の事業展開を図る。
- ・健康福祉部サイドとの連携により、多くの施設での事業を実施する。
- ・保育体験の前後の学習により、参加者に目的意識を持たせる。



## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

- ・保育体験の前後に研修を組むことで参加者が、目的をしっかりと持ち、主催者側のねらいである「生命の尊さ」や「子育ての難しさや喜び」を感じとることができた。
- ・予想を上回る参加希望者がいたが、当初予定にない保育所、保育園にも受け入れをお願いし、希望者全員が参加できる体制をつくることできた。

### (2) 課 題

- ・準備不足のために、各関係機関との綿密な連携がとれない面があった。今後は、反省を生かし、早期の連携を取りながら進めたい。

## 参加者の感想文

### 中学1年男子

体験場所 仲よしクラブ

初日は緊張していたけれど、子ども達から「賢吾君のおにいちゃん」と呼ばれていくたび、だんだんと肩の力がぬけていきました。

僕も小学1~3年まではこの野田仲よしクラブで過ごして、今になって指導員の先生達の苦勞がわかりました。

学校で過ごすよりも仲よしクラブで過ごす時間が長いため、子ども達は学校で見せるより少しわがままで、はめをはずす子もいるようです。それだけ、先生に心を開いているということにもなりますが、先生達は大変そうでした。

子ども達の成長は、両親とも話しましたが、家庭環境に大きく影響されるものだと、つくづく思いました。親と子どもがどれだけ触れ合っているか、話をしているか、その違いは子ども達の成長に大きく表れると思います。

僕は、将来自分の子どもを育てることになりますが、その時は、今回経験したことを生かしたいと思います。

### 高校3年男子

体験場所 保育園

私は、保育士を目指していた。その第一歩に、この体験保育に参加した。

最初、子どもたちの前に立った時、何をしていたのか分からなくなってしまった。だけど、子どもたちがすぐ寄ってきてくれて、何の違和感なく馴染むことができた。何も考えずに遊ぶことができた。子どもたちの笑顔はとても純粋で、見ているだけで、一緒に居る自分も自然と笑みがこぼれる。その子どもたちの笑顔を作るのも、保育士の仕事ではないだろうか。ただ一緒に遊んだり、叱るだけでなく、子どもたちが笑ってられる環境を作る、それも保育士の役目ではないだろうか。だとしたら、私の選んだ道は正しかったと思う。子どもがいつも笑ってられるということはとても素晴らしいことだ。この3日間を通じて、子どもに対する接し方、心構え、他にも色々なことを学んだ。保育士という夢がさらに大きくなった。

### 中学1年女子

体験場所 保育所

3日間経験して、いろいろなことを知りました。

まず私は、思いこみをしていました。なぜかという、私は、2歳のクラスに入ったんですが、入る前は、2歳は話せなくて、自分のことしか考えてなくて、甘えてとっていました。

でも3日間いて、全然違っていました。ふつうに会話はできるし、ちゃんと相手のことを考えているし、相手をいやがらせたり、痛くさせれば、あやまることができるし、ひとりでやろうと一生懸命でビックリしました。

あと、小さい子はみんな同じだと思っていたけど、ひとりひとりぜんぜん性格が違っていました。

1週間とても勉強になったし、参加して良かったです。

### 高校女子2年

体験場所 保育所

3日間保育体験をして、たくさんのことを学べました。

年齢ごとに話し方や遊び方、食事の食べさせ方が違い、最初はとても戸惑いました。でも時間が経つにつれて、それも慣れていきました。

保育所の先生に教わることも多かったけど、子どもたちから教わることも多くありました。

一番うれしかったことは、子どもたちが私のところに「お姉ちゃん」と寄ってきてくれることでした。苦勞したことは、1歳児のところに行った時、まだ小さいので全てをやってあげることでした。

でも、子どもたちの笑顔を見ると苦勞もなくなり、もっとお世話をしてあげたいと思いました。1歳も2歳も3歳~5歳もみんなカワイく、一緒に遊んだり、話したりしていてとても楽しかったです。

この体験を通して、子どものことを知ることができてとても良かったです。



資料

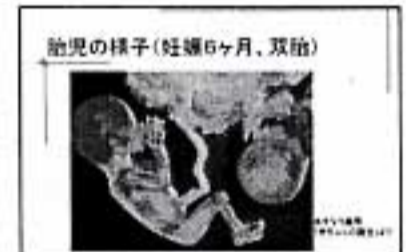
参加申込書(記入例)

塩竈市教育委員会生涯学習課長 殿

保護者氏名 塩竈 花子 印

平成16年度保育体験に下記のとおり申し込みます。

フリガナ <u>シヨガマ マナブ</u>	フリガナ <u>シヨガマ マナブ</u>	フリガナ <u>シヨガマ マナブ</u>	フリガナ <u>シヨガマ マナブ</u>
氏名 <u>塩竈 学</u>	性別 <u>女</u> (男)	学校・学年 <u>千賀の浦 中学校 2年1組</u>	学校種別 <u>中学校</u> (高等学校)
住所 <u>塩竈市東玉川町9-1</u>	電話番号 <u>362-2556</u>	希望日程 ① 7月26~30日 いづれかを ② 8月9~13日 ○で囲む! ③ <u>どちらでも良い</u>	希望場所 ① 第一希望 (東部保育所) ② 第二希望 (野田仲よしクラブ) ③ <u>どこでも良い</u>



事後研修で使用した資料の一部



講義・

## 子どもたちとの交流と性教育

イベント

川西町家庭教育ネットワーク協議会(山形県)

TEL 0238-42-2111 川西町教育委員会内

## 事業のねらい

- (1) 乳幼児、小学生とその家族が集まる機会を活用して、中・高校生がボランティアスタッフとして事業の運営等に参画し、遊びのコーナー等を通して乳幼児や小学生及びその家族とふれあい、交流を深めることにより、子育てに対する理解を深めること。
- (2) 町内全ての中学校・高等学校において、性について考える機会を設け、性教育を通して自分の生き方について見つめ直すきっかけをつくること。

## (3) 参加対象者

川西町内在住・在学の中学生及び高校生

## (4) 参加者数 延べ1,123名

## 事業の概要

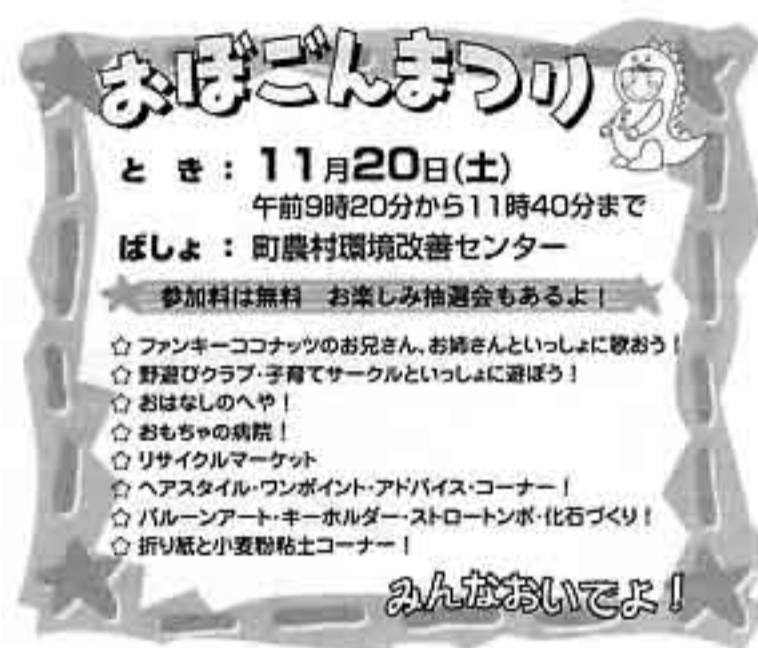
## (1) 事業期日

平成16年11月11日(木)～

平成17年1月13日(木)

## (2) 実施場所

置賜農業高校、第一中学校、第二中学校、農村環境改善センター



## 事業日程

日 程	講座名 / 講師名	内 容	対 象 者	場 所 ・ 時 間
11/11(木)	中高生のための子育て理解講座 井上聡子(さとこ女性クリニック院長)	「知ってほしい性と生」	置賜農業高校 1,3年生及び 飯豊分校生徒	置賜農業高校 14:00～15:30
11/20(土)	その他の機会の子育て理解講座 協議会・地区公民館・子育てサークル ほか	「おぼごんまつり」	130組・320名 スタッフ70名	農改センター 9:00～12:00
12/9(木)	中高生のための子育て理解講座 井上聡子(さとこ女性クリニック院長)	「知ってほしい性と生」	中学3年生	川西一中 14:00～15:10
12/16(木)	中高生のための子育て理解講座 井上聡子(さとこ女性クリニック院長)	「知ってほしい性と生」	中学3年生	川西一中 14:00～14:50
1/13(木)	中高生のための子育て理解講座 井上聡子(さとこ女性クリニック院長)	「知ってほしい性と生」	全校生徒	川西二中 14:00～14:50

### ①「おぼごんまつり」

- ア 開催の機会：町内の乳幼児、小学生とその家族が集まるイベント
- イ 実施期日：平成16年11月20日(土)
- ウ 実施場所：川西町農村環境改善センター
- エ 内容：中学生、高校生がスタッフとして参加し、主として遊びのコーナーにおいて子どもたちとふれあう。
- オ 対象：中学生、高校生
- カ 参加者数：中学生11人、高校生4人
- キ 連携先：中学校、高等学校、地区公民館、子育てサークル、更生保護女性会 ほか

### ②「性教育講座」

- ア 開催の機会：授業時間内
- イ 実施期日：場所・テーマ、対象：(前ページ再掲)
- ウ 内容：産婦人科医師による「知ってほしい性と生」をテーマとする講演  
第一中学校では、2週連続講演とし第1回は講演。第2回は聴講後の生徒の感想や質問を受けて講話をした。

### (6) 広 報

町広報誌、かわにし子ども情報局おぼごん通信、山形新聞、チラシ

### (7) 経 費

諸謝金、消耗品費、会議費



### 事業展開のポイント

- ・「おぼごんまつり」については、乳幼児から祖父母世代まで関わることで、広く異世代間の交流を図る。
- ・「性教育講座」については、各学校を会場としたが、企画・運営を学校任せにするのではなく、担当者が企画の段階から参画し、ねらいなどの共通理解を図りながら実施する。



置賜農業高校生が作成したポスター

## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

- ・おぼごんまつりについては、ボランティアとして参加した中高生の感想をみても、子どもとの遊びを通じて得るものがたくさんあった。また、中高生スタッフに対する参加者の感想も、一生懸命さが伝わってきたとの感想が多く、たいへん好評であった。
- ・性教育講座については、講演内容が多岐にわたるなおかつ核心に迫るものだった。生徒たちは真剣な眼差しで聴講し、性教育を通じて自身の健康や生き方について見つめ直すきっかけとなったとの感想が寄せられた。

### (2) 課 題

- ・「おぼごんまつり」については、引き続き行政が関わりながらも、町内の子育てサークルが主体となって実施していく働きかけをしていく必要がある。
- ・「性教育講座」については、講座の内容と日頃の授業実践、生徒の実態などをふまえて担任が授業展開していくことができるよう働きかけていく必要がある。



## ②平成16年度「性教育講座」アンケート結果

## 中学1年男子

- ◆きちんとNOということが大事だとわかった。あまり性のことについて知識がなかったので今日はいろいろなことを教えてもらえたのでよかった。低年齢で望まない妊娠をして赤ちゃんを殺してしまうということがどれくらい悲しいことが考えていきたい。
- ◆性に関わる病気などさらに知識を深めたいと思った。しっかり自立した人間になり生きていきたい。
- ◆以前お聞きしたことがあってちょっと緊張がとけた感じがした。しかし今日聞いたときの印象は全然違うものだった。周りの環境が変わり本当に自分自身に身近なことだと思うようになった。個人としてはもっと病気についての予防について教えてもらえたらよかったと思った。
- ◆簡単に性交について考えてはいけないのだと思った。性に限らず簡単に考えずにしっかりとした生活を送りたいと思う。また、このような講演をしてもらい理解を深めたい。

## 中学1年女子

- ◆自分の身体は大切にしたいと改めて考えさせられた。お聞きすることができて本当に良かったと思う。
- ◆知らない言葉が出てきてわからなかった。中絶する人がこんなに多いとは思っていなかった。まだまだわからないことだらけだった。難しい。
- ◆中絶は自分にとってもその子にとっても悲しいことだと思った。望まないならば避妊をして考えながら性交しなければならないと思った。遊びで性交をしたり甘く考えたりしてはいけないと思う。
- ◆性については小・中と学んできましたが今日の講話が一番わかりやすかった。大人が自分の地位を利用してセクハラなどの行為をするのは最低だと思う。大人からちゃんとして子どもに教えて欲しいと思った。
- ◆性病、望まない妊娠、病気で生まれてくる子供のことなどがすごくこわかった。

## 高校3年男子

- ◆勉強になったし、いつかは関係があるから今日の講演会で学んだことを大切にしていきたいと思う。
- ◆これから生きていく上でとても重要だということがわかった。もっと性に対する知識を知ることができればよいと思う。
- ◆避妊をしっかりとするのはとても大事だと思った。
- ◆150人に1人がAIDSというのを聞いて驚いた。性病などの絵が気持ち悪かった。少し、難しかった。
- ◆自分の知識で不足していたことを詳しく教えていただいて性に関することがわかった。山形県でもHIVの人がいたということを知って驚いた。性交するときは本当に気をつけなければならないと思った。
- ◆とても参考になった。性と生の大切さなどがよくわかった。
- ◆聞きたくないことやみたくないものを見たりしたので少し気持ち悪かった。

## 高校2年女子

- ◆自分にもいつかは関係があるかもと考え、ためになった。講演を聞いてよかったと思った。
- ◆性行為感染症にはなりたくないと思った。こういう講演会は皆真面目に聞くべきだしもっと真剣に考えるべきだ。正しい性交をパートナーとしていきたい。
- ◆山形でもエイズで病院に通っている人がいて驚いた。自分もならないように自分の気持ちをしっかりと持ちたい。
- ◆いつもは眠くなったりして寝ちゃったりするけれど今日のお話はとても集中できたし面白かった。でもグラフとか表が見えにくいところがあったのでなおしてもらえれば完璧だと思った。
- ◆今日お話を聞いたことは、いつ私達の身に起こってもおかしくない。少しでも自分の身体のことを知り、自分の身は自分で守るしかないと思うのでいいお話が聞けたと思う。簡単に考えず真剣に考えなければいけないなあと思った。ありがとうございました。

講演・

# 中学生の子育て講座

体験学習

新座市子育て支援ネットワーク推進委員会(埼玉県)

TEL 048-477-1111

## 事業のねらい

近年、青少年による凶悪犯罪や親による子どもへの虐待事件が増加しているが、これらの事件発生時に指摘されるのが、家庭の教育力の問題や子どもたちの体験活動の不足であり、家庭の教育力の向上と次代を担う青少年の育成が求められている。

そこで、下記の講座を実施し、家庭教育に関する学習機会の提供や子育て理解に関する学習機会を提供する。

子育て講座A(小学校入学前の子どもを持つ保護者)

子育て講座B(中学校入学前の子どもを持つ保護者)

子育て講座C(中学生)

## 事業の概要

### 子育て講座C

#### (1) 事業期日

Aグループ

平成16年12月7日(火)、12月9日(木)

Bグループ

平成17年1月19日(水)、2月2日(水)

#### (2) 実施場所

新座市立第三中学校

新座市立栄保育園地域子育て支援センター

#### (3) 参加対象者

新座市立第三中学校1年生

#### (4) 参加者数

32名

Aグループ：総合学習で「福祉・保育」を選択の生徒 6名

Bグループ：体験活動「3daysチャレンジ」で「保育園」選択の生徒 26名

#### (5) 講師

臨床心理士、保健師、児童福祉関係者、病院関係者、子育てサークル関係者などで、次世代の育成に熱意をもち、専門的な知識や経験を有する者

#### (6) 実施主体

子育て支援関係団体

#### (7) 経費

報償費、消耗品費、印刷製本費



## (8) 事業内容

### ① 事業日程

		第 1 回	第 2 回	第 3 回
Aグループ	日時	12/7 (火) 11:00~12:00	12/9 (木) 13:00~13:50	12/9 (木) 14:00~14:50
	会場	新座市立栄保育園地域子育て支援センター「るーえん」		
Bグループ	日時	1/19 (水) 13:40~14:30	2/2 (水) 13:40~14:30	2/2 (水) 14:40~15:30
	会場	新座市立第三中学校		
テーマ		「小さな命と出会おう！」 ・赤ちゃんを抱っこしよう	「命を育む、心を育む」 ・お母さんの話を聞こう	「大人になる？ 親になる？」 ・みんなで話し合おう

### ② 第1回「小さな命と出会おう！」

- ・講師 地域子育て支援センター職員
- ・内容 地域子育て支援センター「るーえん」の利用親子を招いて、小さな命との出会いを体験した。赤ちゃんに関するクイズやおむつの交換など自由な形で交流し、その後に感想の共有化を図った。

### ③ 第2回「命を育む、心を育む」

- ・講師 助産師
- ・内容 地域子育て支援センター「るーえん」の利用親子を招いて、妊娠から出産、子育てについての体験談を聞いた。妊娠してどのような気持ちだったか、どのように過ごしてきたか、その時お父さんはどうだったかなど、親としての思いをとおして命の大切さを一緒に考えた。

### ④ 第3回「大人になる？親になる？」

- ・講師 地域子育て支援センター職員
- ・内容 第1回、第2回の講座を踏まえ、大人になる、親になるとはどのようなことなのかを全員で話し合った。併せて、図書の紹介等を通して、性についても意見交換した。

※講座で使用した教材等

- ・レジュメ
- ・胎児の超音波写真 ほか

### (9) 連携機関

新座市立栄保育園地域子育て支援センター「るーえん」

### 事業展開のポイント

- ・子育て支援団体、地域子育て支援センター、中学校の三者が連携して事業を実施する。
- ・子育ての専門家、子育て支援団体、地域の親子など様々な方をゲストに招いて講座を実施する。



## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

- ・乳児と触れあうだけでなく、その母親から話を聞くことにより、子育てについての理解を深めることができた。
- ・毎回グループワークを取り入れたので、様々な角度から子育てについて考えることができた。

### (2) 課 題

- ・この事業を充実、発展させるために協力していただける団体、機関、学校を増やしていく。



## 参加者の感想文

### 第1部「小さな命と出会おう！」

- みんなとても可愛かった。ママと離れたくない子も鉄砲をうってバンバンする子も好奇心旺盛の子とかいろいろな子がいてすごく楽しかった。
- みんな違う性格だった。
- 小さい子と触れ合えてよかった。
- 小さくてやわらかいからちょっと怖かった。
- ふわふわして柔らかい感じだった。
- おむつの取り替えをやらせてもらったけど、寝っころがると動くので大変だなと思いました。
- お母さんは子どもから目を離さずにいた。
- お母さんはめっちゃ幸せそうだった。ほんわかしている。

### 第2部「命を育む・心を育む」

### 第3部「大人になる？親になる？」

- お母さんたちの気持ちがわかった。
- 普段お母さんとかに聞けないこととか教えてくれてよかった。
- 親になるって大変なんだなあって思った。
- 親になることはうれしいけれど、それにつれて不安とか問題が増えてくるんだなあと思いました。でも喜びのほうが大きいと知って少し安心しました。
- 親になる時痛いけれど、それ以上に赤ちゃんが生まれた感動が大きいことを知りました。





体験学習

# 朗読を体験しよう!

大垣市教育委員会 (岐阜県)

TEL 0584-81-4111 (内755)

## 事業のねらい

- (1) やがて親となる高校生を対象に、子育てについて正しい知識や心構えを学び、将来明るい家庭生活を営むことができる子を育てることを願って、講座を開催する。
- (2) 今回の講座では、子どもの情操を豊かにする読み聞かせを学ぶ。

## 事業のねらい

- (1) 事業期日  
平成16年12月7日 (火)  
13:15~15:00  
(総合学習の授業及び国語の授業の時間)
- (2) 実施場所  
岐阜県立大垣商業高等学校  
多目的ホール
- (3) 参加対象者  
岐阜県立大垣商業高等学校1年生、  
教職員
- (4) 参加者数 320名
- (5) 事業内容

項目	備考
◆朗読 「雨ニモマケズ」	◇講師 ニングルの会
◆朗読 「注文の多い料理店 序文・本文」	
◆生徒による朗読体験	

- (6) 連携機関
  - ・岐阜県立大垣商業高等学校
  - ・ニングルの会 (大垣市成人学校一地域指導者養成コース・読み聞かせの部修了者のOB)
- (7) 広報

岐阜県立大垣商業高等学校との調整  
(訪問及び電話)

- (8) 経 費  
報償費



## (9) その他

事業名	開催期日	実施場所	参加対象者	講師等
保健講話「生と性」	6/16(水)	県立大垣南高等学校	全校生徒	「くすくす」
親業講演会	2/10(木)	県立大垣北高等学校	1年生	「親業訓練協会」
もうひとつの言葉 手話で伝えるメッセージ			1、2年生	「夢いろ宅急便」
朗読を体験しよう			1、2年生	「ニンゲルの会」
伝統文化 尺八	2/14(月) 2/17(木)	大垣市立東中学校	1年生	「一柳竹山」
絵本を読むのは楽しいよ	2/14(月) 2/15(火)	大垣市立南中学校	2年生	「おやこ劇場」
もうひとつの言葉 手話で伝えるメッセージ	2/15(火)	平野学園	ボランティア クラブ	「夢いろ宅急便」
絵本が語る知らない世界	2/17(木)	大垣市立西中学校	2年生	「夢いろ宅急便」

### 事業展開のポイント

- ・市内で活動する子育てに関するNPOや団体、ボランティア、個人と協力した事業推進を図る。
- ・異なる対象（地域・年齢・家族構成など）への効率的かつ専門的なアプローチによる総合的・複合的な事業展開を図る。
- ・学校における事業展開では、幅広いメニューからの自由な選択により、ニーズに応えた事業を展開する。

### 事業の成果と課題

#### (1) 成果

- ・多目的ホールを会場とし、音響効果を活かしながら臨場感を高めたり、単に朗読に終わるのではなく、複数の群読を行うなどの工夫を行った。
- ・生徒にも朗読・群読を体験してもらい、実際に取り組むことでその楽しさ・難しさを理解してもらうことができた。

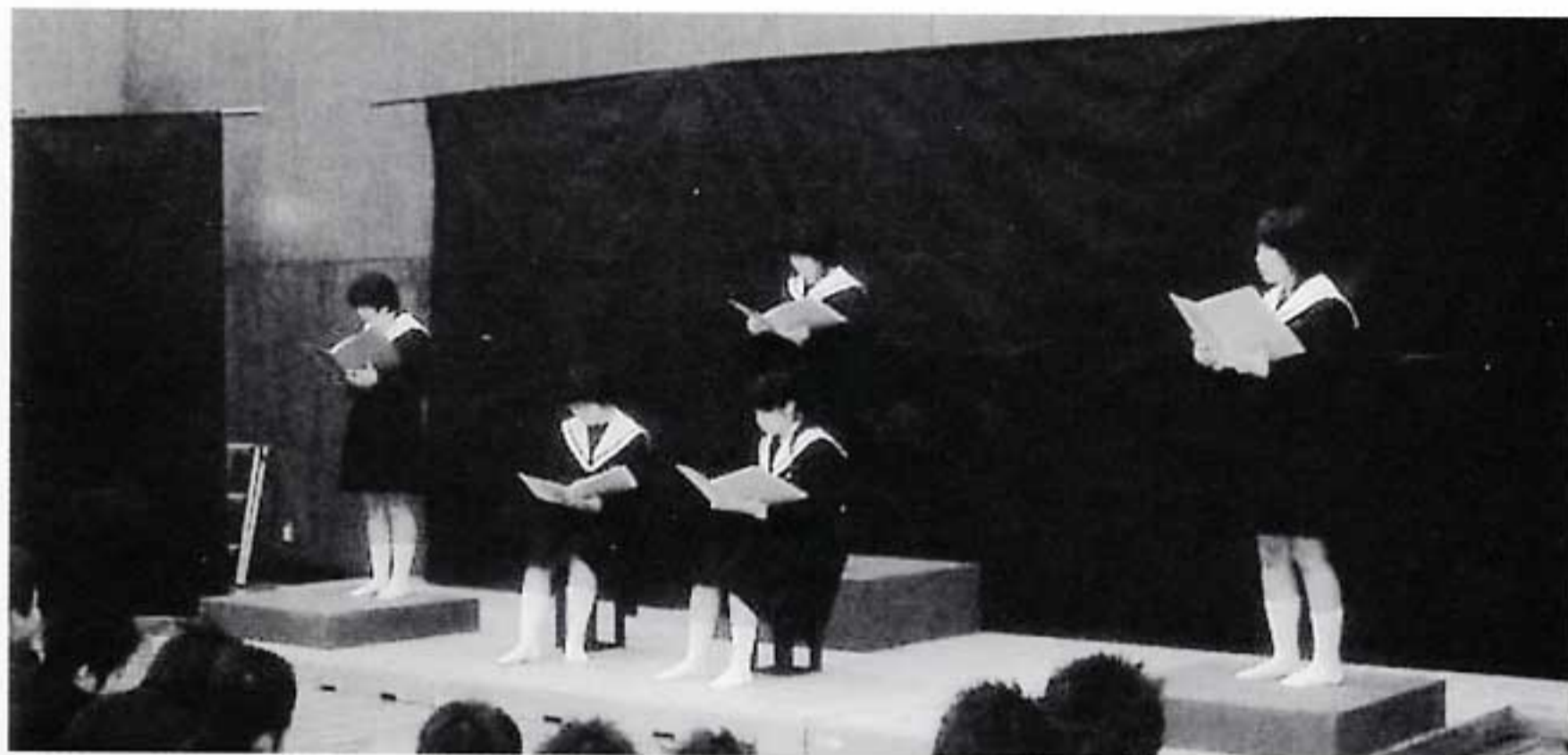
#### (2) 課題

- ・授業時間内の取り組みであったため、カリキュラムへの組み込みでは学校側の多大な協力が必要となり、調整・連絡に困難な点があった。

## 参加者の感想

- 私は、人の前で恥ずかしがらずに感情をこめて話すということが大好きなので、今日のニングルの会の朗読に興味を持ってました。将来私は、子供達にお話をしたりする仕事につきたいので、今日のこの会は、心に残る会でした。一回ニングルの会のみなさんと一緒に朗読に挑戦してみたいと思います。

- やっぱり、私たちとは違って、ニングルの会の人たちは、とても上手で、小さい頃に、お母さんに読んでもらったり、先生に読んでもらったりしたことが、とてもなつかしく思い、また、楽しかったです。私も、ほめられもせず、苦にもされない人であれたらな、と思いました。



- 今日の朗読を聞いて、やっぱり日頃から、練習している人達は、すごく感情を込めて言っていてすごいと思いました。でも、体験をした人も、頑張っていたと思いました。今は、メールなどがあって感情を込めて話す事が少なくなったけれど、今日の時間とかで、大切なんだなあーと思いました。

人それぞれの言い方があって、聞いていて楽しかったです。また、やるとおもしろいのでいいと思いました。

- とても久しぶりに朗読を聞きました。初めなんで高校で朗読？って思ったけど、その意味が今、わかりました。最近、部活や学業でどたばたしている毎日を送っていました。こうやって、ゆっくり朗読を聞いて心が落ち着きました。

また、話し方がかわっておもしろかったし、三人で合わせて話すのがすごいなと思いました。こんな時代だからこそ、朗読がより美しく思えました。素敵な時間を過ごせて良かったです。

- 僕はこの朗読会にあまり期待していませんでした。朗読なんてたいした迫力もないと思っていましたが、今日の朗読会を終えて見方が変わりました。

一つに朗読といっても、体で音などを表現したり、多くの人で文を読む事で迫力などが増して、どんどんステージに引きこまれていきました。

朗読は読んだ人の心や想像力をゆたかにしてくれるものだなと思いました。今日はよい会だったと思います。



- 今日の朗読を聞いてやっぱりいつも練習をしている人は読み方とかが違った。声も聞きやすく、いつもだったら多分というか絶対寝ちゃっているケド……最後まで起きてたし、楽しかったです。

話の内容も知ってる話だったからより楽しくなったんだと思いました。読み終わった後またもう一回聞きたいな。って思ったし、楽しかったです。

また、聞ける時があったら聞きたいし、色々な話を聞いてみたいと思いました。

- 今日の朗読の会みたいなものを聞いて、小学校の国語の時間のことを思いました。一つの物語が終わったあとに、気持ちをこめて読むテストがありました。

私は、あまり好きではありませんでした。でも、今日、朗読を聞いていろいろな物語のイメージがでてきたし、朗読というのはこんなに楽しいものだとして初めて知りました。私も実際に朗読を試してみたかったです。

- 僕は、先生方の朗読を聞き、朗読のおもしろさや、すごさというのを感じました。その役になりきって朗読をするというのは、やってみると、すごく難しいけど、先生方のその人物の気持ちになりきった朗読を聞いた時は、感動しました。

僕は、実際に朗読体験もさせていただき、とてもいい勉強になりました。これからは、この朗読会で学んだことを国語の授業にも生かしていきます。



体験学習

# Withスクール事業

福岡県教育委員会  
南筑後地区「地域ぐるみ子育て支援」協議会(福岡県)

南筑後教育事務所生涯学習室 TEL 0942-53-7524

## 事業のねらい

学校は、家庭・地域社会と連携すれば、地域の子育ての核となることができる

～地域ぐるみの子育て体制づくり～

- (1) 「子育てを考える講座」等の開設
  - ・多くの親が集る学校行事やPTA行事等の機会をとらえて行う。
  - ・中・高生(明日の親となる世代)を対象に家庭科学習等で子どもを産み育てることの意義や家庭の大切さについての理解を図る。
- (2) 家庭教育の重要な役割についての親の「学び」を支援
  - ・子どもに基本的な生活習慣・生活能力・豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断等の基本的な倫理観、自立心や自制心、社会的なマナー等を身に付けさせる。



## 事業の概要



中学校における家庭科学習指導の事例  
～子育てアドバイスのGT(ゲストティーチャー)活用を通して～

- (1) 事業期日
  - 平成16年11月11日(木) 2校時
  - 平成16年11月26日(金) 2～3校時
  - 平成16年12月2日(木) 5校時
- (2) 実施場所
  - 立花町立辺春中学校の教室及び被服室
  - 立花第一保育所
- (3) 参加対象者
  - 立花町立辺春中学校3年生
- (4) 参加者数
  - 50名



(5) 事業内容

<全体指導計画>


配 時	学 習 活 動	—GT (ゲストティーチャー) の活用—
1時間	1 自分と幼児とのかかわりについて振り返り、学習計画を立てる。	
1時間	2 幼児の心身の発達の特徴や遊びの意義について理解し、幼児とふれあいたいという意欲を高める。	
1時間	① 幼児の体・心・ことばの発達について ② 幼児の遊びと環境、遊びで育つ能力について	
8時間	3 遊び道具の製作計画を立て、製作する。	
1時間	4 幼児とのふれあい体験を行い、遊びの工夫をする。	
1時間	① 保育所実習における「遊びの計画書」の立案	
1時間	② 「遊びの計画書」の見直し …………… GT活用Ⅰ	
[課外]	[※グループごとに遊びに関する準備]	
2時間	③ 保育所実習における幼児とのふれあい体験 …………… GT活用Ⅱ	
1時間	5 幼児とふれあった体験の報告会をして、学習のまとめをする。 保育所実習での体験談、幼児と触れ合うことを振り返る … GT活用Ⅱ	

<具体的実践>—GTの活用Ⅰの事例—

ね ら い

- ① 「遊びの計画書」の内容・方法・役割分担・幼児に向けて話す言葉等について見直し、遊びがうまく流れるようにするために不十分なところを付加・修正できるようにする。
- ② 遊びグループごとに子育てアドバイザー (GTとして活用) からの確にアドバイスしてもらったり、質問に答えてもらったりすることによって不十分なところを明確にし、より具体的な遊びの内容につくり変えることができるようにする。

学習の流れ

主 な 学 習 活 動	□教師の支援 と ◆GTの活用
1 前時に作成した「遊びの計画書」を振り返り、本時学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             遊びの計画書を見直し、より具体的な内容につくり変えよう。           </div>	□グループごとに考えた遊びの内容が幼児にとって適切であるかについてアドバイスしてもらったことを参考にして、遊びの計画書に付加・修正を確認する。
2 グループごとに遊びの内容を説明しながらロールプレイングし、アドバイザーからのアドバイスをもとに「遊びの計画書」の見直しをする。	◆GTは、担当グループごとに遊びの内容や生徒からの質問に対して具体的に例をあげてイメージ化できるようにアドバイスを行う。
3 グループごとに遊びの内容を発表し、保育実習への意欲を高める。 	□遊びの内容・方法・気をつけることを発表させ、他のグループの活動を把握する。



**アドバイスを聞いて見直した内容**

- 自分たちで選んだ絵本が幼児に適切かどうかをもう一度検討しよう。
- 本は見やすくもって、大きな声でゆっくり、幼児に話しかけるように読もう。
- 絵本以外になぞなぞも入れてみよう。

**GTからのアドバイス**

- ◇絵本は季節を考えて選ぶことも大事。
- ◇本はこのようにもってゆっくり読みましょう。絵本を何回も読む練習をすること。
- ◇あきないように、なぞなぞをしたり手遊びをいれたりすると楽しくなります。



**アドバイスを聞いて見直した内容**

- 僕たちの手作りの布製ボールを使って「これは（表を隠して）何でしょう？ゲーム」と「的あてゲーム」をしよう。
- 笑顔を絶やさず、顔をねらわない等の約束をして楽しく遊ぼう。

**GTからのアドバイス**

- ◇幼児の前で自己紹介するときは、笑顔でおおさげさに身振りをいれた方が喜んでくれますよ。
- ◇とばす競争（的あてゲームの方法で）だと楽しく遊べると思いますよ。

(6) 連携機関

立花町立辺春中学校、立花第一保育所、南筑後教育事務所

(7) 経 費

謝金、旅費、消耗品費

**事業展開のポイント**





## 事業の成果と課題

### (1) 成果

子育てアドバイザーと連携して保育体験授業を行うことで、「子育て」の楽しさや充実感さらには、親になるために必要な考え方や人間関係のあり方等を中学生に示すことができた。

### (2) 課題

家庭教育支援を学校や地域で行う場合、学社連携・融合を推進していくことが重要である。

そのため、すべての学校で実践できる具体的なプログラム作りが必要である。



## 実習後のアンケートから

### 保育実習に行く前

#### —幼児に対して—

- ・ 幼児は、かわいいと思っていた。(8)
- ・ かわいいけど扱いがめんどくさい。(9)
- ・ 幼児は、扱いがめんどくさいと思っていた。(6)

- ・ 幼児は、嫌い、苦手と思っていた。(3)
- ・ その他〔接し方が分からない。〕(2)

#### —幼児とのかかわりに対して—

- ・ よく遊んでいる。だれと？〔弟と〕(1)
- ・ 時々遊んでいる。だれと？〔近所の子〕(4)
- ・ 遊んでいない。(16)

#### —保育実習に対して—

- ・ 楽しみにしている。(6)
- ・ 楽しみだけど、心配(不安)である。(8)
- ・ 心配(不安)である。(5)
- ・ 別に、どうでもいい感じである。(3)

### 保育実習後

#### —幼児に対して—

- ・ 幼児は、かわいいと思っていた。(17)
- ・ かわいいけど扱いがめんどくさい。(1)
- ・ 幼児は、扱いがめんどくさいと思う。(2)
- ・ 幼児は、嫌い、苦手と思う。(2)
- ・ その他〔接することが難しい〕(1)

#### —幼児とのかかわりに対して—

- ・ たくさん遊びたい。〔近所の子と〕(7)
- ・ 時々遊びたい。だれと？〔親戚の子と〕(7)
- ・ 遊びたくない。(6)

#### —保育実習に対して—

- ・ 楽しかった。(11)
- ・ 楽しかったけど、大変だった。(8)
- ・ 大変だった。(0)
- ・ 実習にあってよかったと思う。(6)

## 実習で学んだこと

- ◇笑顔でいること、ほめることの大切さを学んだ。
- ◇一緒に元気に遊んで、心から笑うことができた。
- ◇もっとたくさん遊んで仲良くなりたい。
- ◇自分も楽しめば、幼児も楽しそうに遊んでくれることを学んだ。
- ◇恥ずかしさをなくし、子どもの目線で話すことを学んだ。
- ◇幼児は好奇心旺盛で、思った以上に人なつっこかったので、接しやすかった。

◇幼児の表情などをみて、子どもの気持ちを考えながら仲良くすることができた。これからは、もっと楽しくふれあい、打ちとけられるようになりたい。

◇幼児はとてもかわいかったが、かかわるのが大変だった。このような仕事をしている保育士の先生はすごいと思った。また、保育士の先生方が笑顔でいられるのは、子どもたちの笑顔と元気によるものであると感じた。



体験学習

# 中学生の子育て理解講座

花泉町教育委員会

TEL 0191-82-2211

## 事業のねらい

町内の中学生を対象に将来、父親・母親になった時に親子の絆を深め、心豊かな子どもを育てていけるよう、子どもとの接し方を理解していただくための場を提供し、子育てに対する理解を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業期日

<職場体験(総合的な学習の時間)を利用して>

平成16年9月15日～11月9日

<家庭科の時間を利用した保育実習>

平成16年11月10日・11日

平成17年 1月17日・19日

### (2) 実施場所

<職場体験(総合的な学習の時間)を利用して>

花泉南中学校、いずみの森幼稚園

花泉北中学校、いずみの森幼稚園

金沢保育園、涌津保育園

<家庭科の時間を利用した保育実習>

花泉北中学校、涌津保育園

### (3) 参加対象者 花泉南中学校、花泉北中学校

### (4) 参加者数 延べ76名

### (5) 事業内容

#### ア 職場体験(総合的な学習の時間)

#### 目的

生徒自身が保育士の仕事を認識するため職場を訪問し、聞き取り及び体験をとおして、保育(子育て)に対する理解を深める。



#### 日程

学校名	日	時	会場
花泉南中学校	9月15日	9:00～12:30	いずみの森幼稚園
花泉北中学校	10月5日	9:00～12:30	いずみの森幼稚園、涌津保育園、花泉保育園、金沢保育園
	11月9日	9:00～12:30	いずみの森幼稚園、涌津保育園、花泉保育園、金沢保育園

## 内 容

- ・ 保育園や幼稚園に訪問し、保育士や幼稚園教諭に事前に決めていた調査事項について聞き取りをする。
- ・ 保育士や幼稚園教諭の指導のもと、幼児との遊びを通して保育を体験する。
- ・ 聞き取りや体験を通じた事項をまとめ、仕事を理解することで、幼児に対する接し方や子育てに対する理解を深める。

## イ 保育実習(家庭科)

### 目 的

保育実習により4歳児とのふれあいをとおり、子どもとの接し方、発達状況を観察し、子育てに対する理解を深める。

### 日 程

学校名	日 時	会 場
花泉北中学校	11月10日	涌津保育園
	11月11日	
	1月17日	
	1月19日	

### 内 容

- ・ 受入れ先の涌津保育園の担当となる保育士並びに園児に対しお世話になる挨拶をする。
- ・ 保育士の指示のもと園児と積極的に交流する。
- ・ 修了後お世話になったお礼と交流した感想を話す。
- ・ 学校に戻って、班ごとにふれあい記録を記録し、まとめの反省をする。

## (6) 連携機関

- <職場体験(総合的な学習の時間)を利用して>  
いずみの森幼稚園、涌津保育園、花泉保育園、  
金沢保育園
- <家庭科の時間を利用した保育実習>  
花泉町涌津保育園

## 事業のポイント

- ・ 町内の施設との連携により実施する。
- ・ 職場体験の前後の学習により、参加者に目的意識を持たせる。



## 事業の成果と課題

### (1) 成 果

保育体験の前に研修を行うことで、目的をしっかりと持ち、主催者のねらいである子どもを理解するきっかけとなった。(子どものことをもっと知りたくなった!)

### (2) 課 題

今回は幼児とのふれあいによる体験であったが、保健福祉サイドと連携をし、乳幼児と母親とのふれあいを通して「生命の尊さ」や「子育ての難しさ・喜び」を理解してもらうことが重要である。(学校・保健センター等の連携)

## 参加者の感想

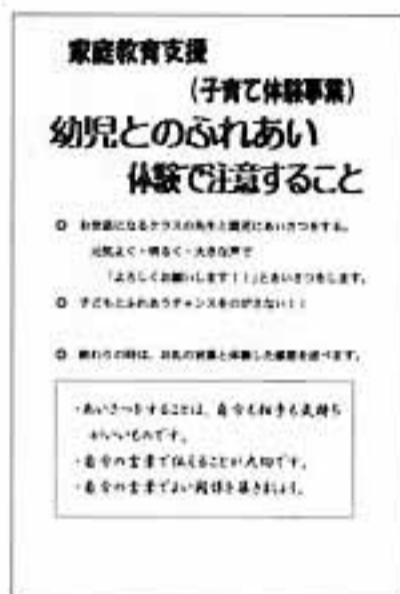
肩車をしてあげたときに、「お姉ちゃんたちと遊ぶの楽しい」と言ってくれたのが、すごく嬉しかった。男の子たちとも電車ごっこをして遊んだり、すべり台で遊んだりして楽しかった。子どものことがもっと知りたくなった。

(花泉中学校3年生)



## 資料

◎参加者全員に配った冊子



## 子どもとのふれあいで注意すること!

### ポイント1

### 子どもをのびのび遊ばせる

- ◎ 子どもは遊びが仕事です。  
遊びは子どもの心の成長にとっても大切です。特に幼児期は遊びを通して感覚を養い、運動をし、ものをつくり、想像します。  
しかし、遊びの機会が減るとともに、外で駆け回るような遊びから、家の中でひとり遊びが目立つようになります。  
また、テレビは好きだがおもちゃで遊べない、昼寝べったりで集団の中で遊べない、外遊びが苦手、などの「遊べない」子どもも現れています。子どもにとって遊びがいかに大切かを認識し、ゆったりのびのび遊ばせましょう。

### ポイント2

### 子どもと一緒に楽しく身体を動かそう

- ◎ 子どもたちの体力が低下しています。  
子どもの成長にとって、楽しく身体を動かして遊ぶことはとても大切です。  
身体を動かすことによって得られる体力は、人間の活力の源になるものですが、子どもたちの体力は低下してきています。  
また、乳幼児期は、走る、跳ぶ、投げるなどという基本的な動きを学習し、運動の仕方を身につける大切な時期です。  
親子のふれあいや仲間との交流を深めながら、さまざまな外遊びを通して、いろいろな身体の動きを学習させるとともに、身体を動かす楽しさを教えましょう。

\*\*\* 追加 \*\*\*

### ポイント3

### 子どもは自然の中で遊ばせる

- ◎ 人生で大切なことは、自然の中で学んだ。  
テレビやテレビゲームなどの室内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。野外で遊ぶことをすすめたり、実際に自然の中に連れ出したりして、動植物や自然とふれあう楽しさに気づかせましょう。地域の自然に親しむ活動に家族ぐるみで参加したり、時には親から離れて子ども一人で参加させましょう。  
自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し豊かな感性をはぐくむとともに、自然や環境を大事にする心や忍耐することの大切さなどを学びます。

### ポイント4

### 地域の活動など年の違う集団に参加させる

- ◎ 年上・年下の友達と遊ぶことは、とても大切なことだ。  
幼児の時期から自分と似たような年代の子どもと遊ぶ機会をもつことは、とても大切なことです。ものの取り合いのようなけんかは言葉の出ない時期でもよく見られますが、こうしたやりとりの中で、子どもは「誰かの人」を知り、「社会性」を学んでいきます。そこで親同士のかかわり方も大切でしょう。  
やがて幼稚園・保育園といった集団に入るようになり、年少の子はルールを守ることや我慢することの大切さなどを身につけ、年長の子は思いやりや心や集団をリードしたり役割を果たしたりする責任を覚悟していきます。  
身近な地域のボランティア・スポーツ・文化活動・青少年団体の活動などは、それぞれ年の違う集団の中で子どもたちが切磋琢磨する貴重な機会を提供しています。親は、その大切さを見直し、子どもたちを積極的に参加させましょう。

# 花泉北中学校の学習プリント

## <職場体験(総合的な学習の時間)での資料>

### いずみの森幼稚園での保育

#### 1.家庭での保育が第一

幼児の保育は両者で、各家庭によって状況が違うと思うが、母親だけが保育する時代とは違ってきている。父親も子育てにできるだけかかわった方がよい。

#### 2.幼稚園では

- 集団の中での遊びを通して おもいやりの心、協力の心等を育て自立をめざす。
- ①すばらしい環境を生かした保育に心がけている。
- ②できるだけ戸外での遊びをさせる。
- ③室内では、部屋の環境を季節に応じて変え、園児が楽しく学習できるようにする。
- ④一人一人の園児の成長状況、家庭環境等から性格を知りそれなりに対応する。
- ⑤職員全員で全園児をみる。

#### 3.しつけの問題について

- 家庭でできるしつけ…… 衣類の着脱、排便、挨拶、名前を言える、はしの持ち方等。
- 幼稚園でできるしつけ…… 集団生活のきまり、みんなと遊ぶ時、トラブル発生の時、遊具の使い方等。
- 地域でできるしつけ…… 地域での集まり、公民館等を利用する。

#### 4.保育の実践例から

- (1) 園児への接し方
  - ・かならず名前を呼んであげる。
  - ・声がけをする→「○○ちゃん元気?」「朝ごはんたべてきた?」等 顔を低くして相手の視線で、相手の目を見て、頭を軽くなでてあげる。
  - ・どの子にも声がけをする。
- (2) 園児同士で喧嘩をした時→しからず、お互いの理由を聞く。どちらにもやさしく教えてあげる。
  - ・どんな小さな事でも善行はほめてあげる。
  - ・ほめることはより叱ることが難しい。
  - ・叱る時はその場で、しかも相手の身体上欠陥を言ってばかりにするとか、相手に怪我を与えた時等
- (3) 明るく楽しい園生活を常に心がけている。



### 幼児とのふれあいの記録

3年 4組 番 登氏名

日時	平成 年 月 日 ( )
訪問先	涌津保育園
対象児 (クラス)	4歳たんぽぽ組(12名)
用意する物	ティッシュ、はんから、ジュージ
予想されること (ことば、遊び、おもちゃ、など)	・おにぎりに似ている スキップが出来る ・ワムかきもちる 一足でとべる ・葉田遊びちうい はさみを扱うことが出来る ・反抗的にふる ・泣き止まない
私の心構え (どのようなことに気を配り、幼児と接するか、観察すること。)	・おか恩に聞かれたことには、必ずやさしくよくわかりやすいように答える ・「おにぎりに似ている」といって幼児におんがくならないようにする ・おか恩に おもててあげよう
実際と観察結果	みんなすごく小さくてかわいかった。指もつめも小さくて、やはり頭も大きかった。4歳にもなると、20ぐちいほぐの教がかぞえなれることがわかった。あと、なゆとびをした時に名指をよんで、わかるように教えたけ言う事をきいてくれた
交流学習の感想	電車をしてあげた時に、「おぬいちゃん達とあそぶの楽しい」と言ってくれたのがすごくうれしかった。男の子達は電車ごっこをして遊んだり、すべり台で遊んだりと楽しかった。子供の目がキラキラと輝いた!!!



講義・  
体験学習

# 明日の親となる中・高校生を 対象にした子育て理解講座

陸前高田市教育委員会 TEL 0192-54-2111

## 事業のねらい

文部科学省の提唱する「家庭教育支援総合推進事業」の一環として、市内中学生と高校生を対象に「子育て理解講座」を実施し、参加者に「生命の大切さ」を考えてもらう。

## 事業の概要

### (1) 事業期日

講義 平成16年8月4日(水)  
体験学習 平成16年8月5日(木)

### (2) 実施場所

陸前高田市中央公民館

### (3) 参加対象者

陸前高田市・大船渡市、中学生・高校生

### (4) 参加者数

8月4日 中学生34名 高校生20名 合計54名  
8月5日 中学生24名 高校生20名 合計44名

### (5) 事業内容

事業日程

	テーマ	内容
8月4日(水)	講義	「岩手の若者たちの現状 いのちの大切さを考える」 県立大船渡病院産婦人科 秋元 義弘 科長
8月5日(木)	託児ボランティア体験	乳幼児教室「つくし学級」の託児ボランティア体験



### ●講義

産婦人科の医師より、若者の性の実態及び中絶や感染症などについて学び、今の自分が親の大きな愛情によって生まれた存在であることを理解した。

### ●託児ボランティア体験

今の中・高校生は、直接乳幼児に会う機会が少ないため、託児ボランティアを体験させた。

(6) 連携機関

岩手県立高田高等学校  
岩手県立広田水産高等学校

(7) 広報活動

ア 市内小・中学校に案内文書を送付  
イ 市内高等学校に参加案内持参で訪問

(8) 経 費

報償費

### 事業のポイント

- ・自分の生命が、両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感させる。
- ・思春期に、性体験を急ぐ必要がないことを理解させる。
- ・生命の大切さを理解してから、託児体験をさせて、親の気持ちの理解につなげる。

### 事業の成果と課題

(1) 成 果

- ・講義の内容は、かなりショックを受けたようだが、中・高校生なりに「生命の大切さ」を受け止めてもらうことができた。
- ・性感染症などへの注意を喚起することができた。

(2) 課 題

- ・初回のため、広報活動が不十分であった。反省し、次回に生かしたい。



## 8/4 講義

テーマ

「岩手の若者の現状～いのちの大切さを考える」

岩手の若者の現状について具体的な数字を交え、  
分かりやすく説明いただきました。



「命の尊さを改めて考えました。  
学んだことをこれからの生活に  
生かしたいです。」



「服がよだれでヨレヨレになっちゃったけど、かわいいんだよな」



## 参加者の感想

### 講義の感想

今日、参加して赤ちゃんを産むためには、こんなに苦労して産んでいるんだなあとはいじめて感じました。今回の事を生かして、今後の生活に役立てたいと思いました。今日は、いいお話を聞かせてもらって良かったです。

(中学生)

中絶の件数の多さに驚いた。普段はあまり深く考えていなかったのですが、今回のことはとても勉強になったと思う。安易な行動をとらないこと。これから親となる私たちにとっても必要だと思う。簡単に中絶できるような人間にだけは絶対になりたくない。そのためにもう少し命について考えてみなければいけないと感じた。

(高校生)

今日の講演でたくさんの事がわかりました。岩手県の実情なども知る事ができました。今まで知らなかったことも今日の講演を通して知ることができました。今日は、性について知ることができて良かったです。秋元先生、中央公民館の方々ありがとうございました。

(中学生)

今日は、いろいろなことを学ぶことができ良かった。岩手県の若者の現状にとっても驚いた。今、私たちが考えなければならないことを、しっかり心にとめておきたい。今日のような話を、同じ多くの高校生にぜひ聞いて欲しい内容だった。そして、一人でも苦しむ人が減ったら良いと思う。

(高校生)



## 託児ボランティア体験

ボランティアをして小さい子がなかなか泣き止まなかった時は、大変だったけど、小さい子とふれ合ってとても良かったと思うし、楽しかったです。それから、そのお母さんたちはそれ以上に苦労しているんだなと感じました。近所の子どもたちといっぱいふれ合っていきたいです。

(中学生)

今日のつくし学級ボランティアでは、二人で一人を見たけどずっと泣きっぱなしでした。何回も抱っこしたりして大変だったけど自分のお母さんもこういうふうに育ててくれたんだなあと思いました。大変だったけど子どもとふれ合うことが出来たし、もし自分が「お母さん」になった時の体験ができて良かったです。

(中学生)



赤ちゃんが可愛かったです。何回か泣かれましたけど。赤ちゃんの手が小さくて握ったらすっぽり自分の手の中に入っちゃいました。寝てる子とかを見てて、寝息を立てているのを聞いて「生きているだなー」と実感しました。小さい子とふれあいたくてこのボランティアをやったので良かったです。

(高校生)

あんなに小さい子は初めてだったけど、そんな不安もなくなるほどすごくなついてくれた子がいて嬉しかった。服がよだれでヨレヨレになってしまったけど、すごく良い経験ができた。機会があったらまた絶対に来たい。参加した理由は自分の経験を豊かにするためでした。思っていたよりずっとよい時間を過ごせました。「ゆうい」君、またいつか遊ぼうね。

(高校生)

講義・  
体験学習

# ひよこふれあい体験

宮古市教育委員会

TEL 0193-62-2111

## 事業のねらい

子育ての次世代を担う高校生を対象に、子育てについての知識や、子育てをめぐる状況を学習する場を提供するとともに、教育委員会主催のひよこ教室（乳幼児期家庭教育学級）で、母親や乳幼児とふれあい、子育てを体感することをとおして、子育てについて学習する。



## 事業の概要

### (1) 事業期日

第1コース 平成16年6月19日、26日、7月3日

第2コース 平成16年9月18日、25日、10月2日

### (2) 実施場所 宮古市中央公民館分館

### (3) 参加対象者 高校生（ひよこ教室への参加対象者： 6～18ヶ月の子を持つ親子及び家族）

### (4) 参加者数

第1コース：8名

第2コース：8名

### (5) 事業内容

事業日程

	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	・宮古市生活福祉部健康推進課の保健師によるあかちゃんの発達についての講義
第2回	おしゃべり会	・ひよこ教室参加者との自己紹介を兼ねたアイスブレイク ・ひよこ教室参加者がグループワークをしている間、あかちゃんの世話や遊びの相手をする。
第3回	講義	「乳幼児期の心の発達」 盛岡大学短期大学部 助教授 大塚健樹
第4回	交流会	・自分の生まれてきたときの状況を親から聞いてきてもらい、その内容をもとにひよこ教室参加者と交流を図る。

(6) 連携機関

生活福祉部健康推進課

(7) 広報活動

ア 市内各高校に参加募集依頼

イ 事業後、活動内容を市のHPにて紹介

(8) 経 費

報償費、消耗品費、郵送料



### 事業のポイント

- ・参加しやすい気軽な雰囲気をつくる。
- ・高校生は、長期休み中も忙しいので土曜日の実施とする。
- ・健康推進課との連携で、母子保健に直接携わる保健師から指導を受け、赤ちゃんの世話の仕方だけでなく、自分を大切にすることについて考える機会を提供する。
- ・ポートフォリオを作成し、参加の経過を振り返られるようにする。

### 事業の成果と課題

(1) 成 果

- ・昨年度の反省から、事業実施日を土曜日にする  
ことで、参加率が高まった。
- ・ひよこ教室の参加者やふれあい体験の参加者の  
間で、とても良い雰囲気での交流が図られた。
- ・ふれあい体験の参加者は、実際に育児を行っ  
ているお母さんに話を聞いたり、成人ボランティ  
アから乳幼児との接し方を聞きながらの育児体  
験で、職業や将来の自分について考える機会に  
なった。

(2) 課 題

- ・ひよこ教室への参加者の人数に応じて高校への  
参加募集をお願いしているため、ひよこ教室へ  
の参加者が少ないと高校生の参加者も増やすこ  
とができない。実施日程の見直し、募集方法の  
検討が必要である。

## 参加者の感想

### 託児を体験して

赤ちゃんと接することが今まであまりなかったののでいい体験ができました。せなちゃんにずっと泣かれて焦ったけど、落ち着いたときほっとしました。

### 将来の自分

子どもをきちんと見れる親になりたい。

(高校生女子)

### 託児を体験して

初めてのときは泣き出してしまう子とか、あやすのにとまどいがあったけど、2回3回と体験して、こういうときはこうすればいいんだとか、わかってくる部分があって、とてもうれしかった。1回目人見知りをしてしまった子も最後はなついてくれてうれしかった。

### 将来の自分

私は保育士になりたいので、これからがんばります。今回の体験はいろいろためになりました。これからの自分の夢に役立てたいです。

(高校生女子)

### 託児を体験して

すごく大変だった。どう接していいのかわからなかった。でも、みんな小さくてかわかった。やわらかくておれそうだった。

### 将来の自分

子どもの気持ちがわかる親になりたい。ひよこ教室に来ていた親達みたいに。

(高校生女子)

### 託児を体験して

すごく赤ちゃんがかわかった。こどもによって、遊びとか行動が違って、見てて楽しかった。普段小さな子どもと遊んだり触れあう機会がなくて、こういう体験を通してやっぱり子供は天使だなあ…と思った。

### 将来の自分

優しく温かい親になりたいと思う。ひよこ教室のお母さんたちは子どもに対してすごく優しい目をしていて大切にしているのが伝わってきた。自分もそうなれたら…と思う。

(高校生女子)

### 託児を体験して

たくさん子どもとふれあうのは、ひよこ教室が初めてだったが、子どもの成長や発見をみるたびに子どものすごさを感じた。

### 将来の自分

保育士になろうと思っています。子どもというのは、人生の大事な土台の時期なので、しっかり大人が見てやらなくてはいけないと思いました。自分の子どもをもった時もしっかり育てようと思います。

(高校生男子)

### 託児を体験して

思っていたより難しかったです。

### 将来の自分

体験したことが生かされると思います。

(高校生男子)

**託児を体験して**

どんなふうに接してあげたらよいか分からなくて、ただ見ているだけだったりとかもあったけど、いろんな子と一緒に遊んだりできてよかった。一人一人やっぱりちがくて、たくさん発見することができました。

**将来の自分**

やっぱり保育士になりたい。ひよこ体験して、わたしにできるのかなって思うこともあったけど、子どもたちの笑顔とか見てたらやっぱり保育士しかありません！！

(高校生女子)

**託児を体験して**

子どもが考えていることがすぐ分かるお母さん達はすごいと思った。たくさんの子どもとふれ合えて、いろいろな性格の子がいたので、対応の仕方などすごく勉強になった。

**将来の自分**

子どもが思うことをすぐに分かることができる親。

(高校生女子)

**託児を体験して**

心が和んだ。子どもの接し方がわかった気がする。見つめられるとどうしていいか困る。

**将来の自分**

親バカになりそうだ。

(高校生男子)

**託児を体験して**

赤ちゃんは言葉がわからないし、何をすることもわからなくて、毎日、一日中赤ちゃんというお母さんは大変だと思った。けれど、時々声を出して笑ってくれたりすると本当にかわいくて、嬉しかったし、楽しかった。お母さんだけに見せる表情もあって、やっぱり違うんだなあと感じたし、うらやましかった。自分にもこんな小さい時があったのだと思うと、不思議な気分。

**将来の自分**

赤ちゃんと実際に触れあって、早く赤ちゃんが欲しいと思ったけれど、自分がお母さんになってる姿は全然想像できない。でも、赤ちゃんがいっぱい笑ってくれればうれしいから、そのために一生懸命できるお母さんになりたいと思った。

(高校生女子)

**託児を体験して**

最初はちょっととまどったけど、だんだん慣れてきて遊べて楽しかったです。貴重な体験ができ、いろいろ勉強になることが多くて、今回、3回だったけど、参加して良かったです。お母さんたちもボランティアの人たちも優しく話し見習いたいです。

**将来の自分**

テレビとかニュースで虐待とかやってるけど、そういう親には絶対ならない。子どもが好きって言うのも大事だけど、育てる面で大変な事も乗り切って、たまには他のお母さん達とひよこみたいな体験に参加してみたい。

(高校生女子)

平成16年度家庭教育支援総合推進事業

**明日の親となる中・高校生を対象にした子育て理解講座事例集**

発行 平成17年3月

発行者 岩手県家庭教育推進協議会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課内

TEL019-629-6176 FAX019-629-6179

印刷者 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地

TEL019-651-2110(代) FAX019-654-1084